

第5学年1組 道徳科学習指導案

令和3年10月29日（金）5校時

第5学年1組 37名

授業者 田上由紀子

1 主題名 自由と自分勝手はちがう A【善悪の判断、自律、自由と責任】

2 教材名 「うばわれた自由」 私たちの道徳(小学校5・6年 文科省)

3 主題設定の理由（授業者の指導観）

（1）ねらいとする道徳的価値について

自己を高めていくには何物にもとらわれない自由な考えや行動が必要である。自由だからこそできることや自由のよさを考え、自由の大事さを実感できることが大切である。自分の自由な思考や行動を他から制限されたり、自分は何かに縛られてると感じたりしている内は、窮屈さを感じ、自分らしさを出すことができないままになりがちである。

一方、自由には自己責任が伴う。自由の捉え違いをし、相手や周りのことを考えずに自分勝手な振る舞いをしまうこともある。それは、自由とは言えない。

人間にとって、自由はなくてはならないかけがえのないものであり、奪われてはいけなないものである。そのためには、自分を律し、人として守るべきことを自覚して、自由を大切にしていけることが大事である。自由と自分勝手との違いを考えることを通して、「自由とは何か」を考えさせていきたい。

（2）児童の実態について

本学級の児童は、伸び伸びとして、「〇〇でなければならない。」ということにこだわらないで過ごしている児童が多い。自由にしていい時間は、自分の好きなことをしたり、友達と工夫をしながら過ごしたりすることができる。

先日の遠足では、自由に遊んでよかったということもあって、思い思いに好きな遊びをして、楽しく過ごすことができた。川遊びでは、テンションが高くなり、遊びに夢中になって集合時間を守ることを忘れてしまったり、守れなかったことは仕方がないと悪びれなかったりした姿が見られた。自由と自分勝手とは違うということが分かってはいても、自分で自律的に判断することが難しい場面もある。

自由に発想し、自由な時間に工夫して楽しめる児童だからこそ、自由と自分勝手の違いについて考えを深めることで、自由には、自分の行動には自己責任が伴うことを考えさせたい。

（3）教材について

本教材は、自分勝手な行動をしていたジェラルが、囚われの身となり、本当の自由について考えるお話である。王子だったジェラルは、きまりを破って、早朝森の中で銃を撃ち、森番のガリューに注意を受ける。身分を超えて必死に訴えるガリューの言葉を聞き入れることなく、逆にガリューを捕えて牢屋に入れてしまった。王になってからは、さらに勝手気ままにふるまい、世の中が乱れ、裏切りにあい、自分も囚われの身となり、自由を奪われてしまう。そこで、ガリューにあい、本当の自由について考えることになる。主題である「自由と自分勝手は同じじゃない」ということが、児童にとって分かりやすい教材である。

この教材を通して、自由と自分勝手の違いについて考えていく中で、「自由とは何か」について児童

の考えを深めていきたい。

教材分析表

場面	主人公（ジェラルル）の心の動き・内面	発問
① 「ダッダーン！」 まだ、夜の開けぬ森の中で、一発の銃声が山々にこだました。	<ul style="list-style-type: none"> ・いい獲物を捕まえることができたかな。 ・静かな中、狩りをするのは気持ちがいい。 ・だれもいないから、狩りがやりやすい。 	自由にして何が悪い
② ガリューが近づいていくと、「森番、何か用か。」と、にらみつけるようにして声をかけた。	<ul style="list-style-type: none"> ・何を言いに来たんだ。 ・せっかく狩りを楽しんでいるのに…。 ・用事があるなら、さっさと見え。 	↓
② 「ここは、日暮れから日の出まで、狩りをしてはならない所と知って打っていたのか。」と、ガリューは、強い調子で言われた。	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなことは知っている。 ・だから、何だと言うのだ。 ・だれもいないし、森の中だ。だれにも迷惑はかけていない。 ・細かいことを言うてくるもんだ。 ・早く狩りがしたい。 ・いい気分で狩りをしていたのに、うるさい。 	
③ 「何を言っているのだ。きまりを破っておきながら。捕えてやる。」とガリューは、きっぱりと言われた。	<ul style="list-style-type: none"> ・王子に向かって無礼だ。 ・わたしのことを王子だと知らないな。 ・王子だと知ったら、びっくりするだろう。 ・王子だと知ったら、黙って引き下がるだろう。 	
⑤ 「さあ、捕らえられるものなら、捕らえてみる。」威張って言った。	<ul style="list-style-type: none"> ・ほら、どうだ。思い知ったか。 ・これで、何も言えないだろう。 ・さっさと引き下がれ。 	
⑥ 「誰であろうと、国のきまりを破ったからには、許せません。国のきまりは、みんなが勝手なことをしないようにするためにあるのです。」と、ガリューに、必死になって訴えられた。	<ul style="list-style-type: none"> ・王子だと分かっているのか。 ・王子に対してきまりだのなんだのよく言えたものだ。王がきまりを作っているんだ。 ・王子に対して、無礼だ。 ・王様の息子だ。そんな平民の身分で何を言っているんだ！ ・たかが銃をうったぐらいでうるさい。 	
⑦ 「みんな、したいことをしたいようにできる自由な暮らしを望んでおるのだ。きまりだの、何だのと言っていたら、窮屈でた	<ul style="list-style-type: none"> ・私だけでなく、みんな自由勝手にふるまいたい。 ・それなのに、なぜ、わたしにばかり言うのだ。 ・きまりを守らなくても、だれも困らないじゃないか。 ・窮屈なことばかり言って、バカなやつだ。 	みんなだって自由気ままにしたいはずだ

<p>まらんではないか。」と、ガリユーや家来に言った。</p>		
<p>⑧「あなた方が言っている自由というのは、わがまま勝手というもの。」とガリユーに言われて、王子は言葉につまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由にして何が悪い。 ・わがままと言っても、だれもいないところで銃を撃っただけだ。 ・自由には変わらない。 ・ここまで言ってもだまらないのか。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">わがまま勝手？そんなに迷惑はかけてない</p>	
<p>⑨「したいことをしたいようにされては、他の者は迷惑です。周りのことを考え、ご自分の心を抑えてください。」と、ガリユーに言われた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生意気なことを言うな。 ・ここまで王子を馬鹿にするとはけしからん。 ・なんで、森の番人ごときに命令されなきゃいけないんだ。 ・誰もいないところで撃ったんだ。 	
<p>⑩ガリユーを牢屋に入れた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あんな無礼な奴は許せない。 ・牢屋に入れば、少しは頭を冷やすだろう。 ・懲らしめてやれ。 ・王子に逆らうとこうなるんだ。 ・窮屈なことばかり言うからダメなんだ。 	
<p>⑪ジェラル王子が王位を受け継ぐと、ジェラルのわがままは一層ひどくなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由は気分がいい。 ・もうこの国はわたしのものだ。 ・この国は、わたしの思う通りにできる。 ・もう、私に文句は言わせない。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">すべて自由にできる</p>	
<p>⑫国中の人々も、勝手なことを平気でやるようになり、王のそばに仕える者も、勝手きままにふるまって、世の中が乱れてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなも自由にやっている。 ・自由はいいものなのに、なんで世の中がみだれてきたのはなぜなんだろう。 ・ちょっとは規制がないとだめなのかな。 ・自由にし過ぎてしまったのかな…。 ・王が自由にしても、他の人はちゃんとしてほしい。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">自由はいいことなのに・・・</p>	
<p>⑬ジェラル王は裏切りにあい、囚われの身となった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしが何をしたというのか。 ・王を捕まえるとはとんでもない。 ・これから、わたしはどうなってしまおうだろう。 ・牢屋に入らなくてはいけないのは、いやだ。 ・何が悪かったのか。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">自由にできなくなってしまった</p>	

<p>⑭暗い洞窟に作られた牢屋の中で、1人の男が静かに座っているのが見えた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいつは誰だ。 ・こんな風にわたしもなってしまうのか。 ・牢屋に入るとこんな風になってしまうのか。 	
<p>⑮「ジェラルド王、あなた様も、とうとう、自由を奪われてしまいましたな。」と、低い声で語りかけられた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、わたしの名前を知っているんだ。 ・おまえは、だれなんだ。 ・とうとう・・・わたしがやってきたことを知っているのか。 	
<p>⑯ガリューと向き合ったまま、しばらくの間、2人は黙っていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あのときの森の番人か。 ・あの番人と同じになってしまったのか。 ・この番人を捕らえたのは、わたしだ。 	
<p>⑰「ガリュー、あのとき、お前の言葉を受け入れ、わがままな心を正すことができたなら、このように国が乱れることもなかったであろうに……。」 と、はらはらと涙を流した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガリュー、本当に申し訳ないことをした。 ・あのときにガリューの言葉を受け入れていればよかった。 ・王として好き勝手したつけが回ってきてしまった。 ・自由にし過ぎたことが原因で、自分も囚われてしまった。 ・わがまま気ままにしたことで、国までも乱してしまった。 ・どうしたらいいんだろう。 ・王として、自分はとんでもないことをしてしまった。 ・もっと早く気付けばよかった。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自由にし過ぎてしまったのか</div>	
<p>⑱「一緒に、本当の自由を大切に、生きてまいりましょう。」 と、ガリューに言われた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由とは、自分勝手にすることではないんだ。 ・守るべきことは守って、その上で自由にしないといけないんだ。 ・自由にするにしても、やってはいけないし、限度ということを考えなくてはならない。 ・これからは、自分勝手ではなく、本当の自由を大切にしていきたい。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自由とは、好き勝手していいことではない</div>	

5 ねらいに迫るための手立て

- (1) 座席の工夫… 〈教材提示〉教材にじっくりひたらせるために、全員が担任の方を向くようにする。
〈話し合い〉座席をコの字(コロナ禍のため、ハの字に近い形)にし、みんなの顔を見て、話し合いができるようにする。
〈振り返り〉前向きの座席の形にし、一人一人がじっくり自分を見つめられるようにする。
- (2) 教材提示の工夫… 一人一人の児童が教材に自我関与(自己を投影)して考えることができるように、間をとり、臨場感ある提示をする。
- (3) 話し合いの工夫… ドキワク発言を行い、友達の意見をしっかり聞いて話し合いができるようにする。また、教材を通して考えたことをもとに、4人グループで話すことで、一人一人が考えを深められるようにする。

6 本時

(1) ねらい

自分勝手と自由の違いをジェラル王子の言動から考える学習を通して、自分を律し、人として守るべきことを自覚して、自由を大切にしていこうとする**態度**を育てる。

(2) 学習指導過程

	□学習の流れ ○発問 ◇児童の活動 ・予想する児童の活動	・指導上の留意点
導入	<p>価値への導入</p> <p>○自由には、どのようなイメージがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことができる。 ・楽しい。 <p>○自由にしなきゃよかったと思うことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけすぎて、物を壊したとき。 ・自由にして、他の人に迷惑をかけたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由にしてよくなかったという意見に対して、問い返しをして、問題意識をもたせる。
展開の 前段	<p>教材を読み、話合う。</p> <p>①ガリユの言葉を受け入れていればよかったと涙を流していたジェラルは、どんな思いだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガリユ、本当に申し訳ないことをした。(後悔) ・もっと早く気付けばよかった。(後悔) ・あのときにガリユの言葉を受け入れていれば、こんなことにならなかった。(反省) ・自由にし過ぎたことが原因かもしれない。(反省) ・わがまま気ままにしたことで、国までも乱してしまった。(反省) ・王として、自分はずいぶん悪いことをしてしまった。(反省) ・どうしたらいいんだろう。(不安) <p>②ガリユに「本当の自由を大切に、生きてまいりましょう。」と言われたジェラルは、「本当の自由」についてどの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を教師が範読している時は教師の方に向かせる。範読の後に座席をコの字に戻す。 ・第1発問に入る前に、自由気ままにしていたときのジェラル王子の気持ちを児童のつぶやきを聞きながら押さえる。 ・ドキワク発言で行う。

	<p>ように考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由とは、自分勝手にすることではないんだ。 ・守るべきことは守って、その上で自由にしなくてはいけないんだ。 ・自分の思いばかりを優先してはいけない。 ・自由にしたくても、自分以外の人のことを考えなくてはいけない。 ・これからは、自分勝手ではなく、本当の自由を大切にしていきたい。 	
展開の後段	<p>自分を振り返る</p> <p>○自分の生活を振り返って、自由と自分勝手とは違うなあと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びやチームを決めるとき、自分勝手に決めているのは、わがままであって、自由に決めているのとは違うと思った。 ・自由に遊んでいいからと言って、他の人のことを考えずに騒いでいるのは、いけないと思う。みんなのことを考えているから楽しいものだと思う。 <p>○自由にするときに大切にしないではいけないことはどんなことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことばかり考えて、他の人のことを考えずに好き勝手にしないようにすること。 ・自由にしているからと言って、やっではいけないことはやらないようにすること。 ・守るべきことは守った上で、自由にするのが大切。 ・自分でどこまで自由にしているかとか考えることが大切。 ・自由は、自分も楽しいし、他の人も楽しいものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに、ジェラルルの自分勝手な自由と、中心発問の板書を比較させた上で話し合わせる。 ・ワークシートに記入する。(B6ノート) ・座席を全員前に向かせる。 ・4人グループで話し合う。 ・グループでの話し合いは、意見を一つに集約させるのではなく、友達の意見を聞きながら、考えを深めることを目的とする。
終末	教師の説話を聞く。	

*宿題で道徳ノートを出す。

(3) 評価

- ・本当の自由について考えているジェラルルの思いを考えることを通して、「自由とは何か」ということを考えることができたか。(中心発問 発言)
- ・自分勝手と自由の違いを考えることを通して、自分を律し、人として守るべきことを自覚して、自由を大切にしていこうとする態度をもつことができたか。

(振り返り 表情 道徳ノート)

(4) 板書計画

本当の自由

- ・ 守るべきことはまもらなくてはいけない
- ・ 自分以外の人のことを考えて自由にすべき
- ・ 自分勝手にすることではない

場面絵

自由

勝手なことを平気でやる

「きまりだの、何だのと言っていたら、世の中、窮屈でたまらんならぬか。」

・ 楽しい
・ 自由にしたい
・ 何が悪い

場面絵

自由をうばわれる

うばわれた自由

自由と自分勝手はちがう

・ 悪かった
・ もっと早く気づけば…
・ 言うことを聞けばよかった
・ 自由にすぎた
・ わがままだった

・ 楽しい
・ 自由にしたい
・ 何が悪い

(5) ワークシート

今日の主題(テーマ)について考えた。	◎ ○ △
自分の考えをもって学習した。	◎ ○ △
友達の見解をよく聞いて、自分の考えと比べて考えた。	◎ ○ △
自分自身を振り返って、見つめることができた。	◎ ○ △

自由と自分勝手はちがう

自分の生活を振り返って、自由と自分勝手はちがうと思ったことはありますか。

名前

ワークシートや振り返りノートに書かれた児童の学習感想

- ・わたしは、友達と公園で遊んでいるときに、「タバコは公園で吸わないでください。」と書いてあるのに、公園で吸っている大人の人がいて、においがすごく広まっていました。吸わないでほしいなと思いました。さらにごみを置いていく人もいたので、「みんなの自由」は守ってほしいなと思いました。
- ・コロナが流行しているのにマスクをしない自分勝手な人と、感染対策をして自由に（最低限のルールを守って）ライブなどに行っている人がいるときに、自由と自分勝手は違うなと思いました。
- ・人を困らせたなら、もうそれは自由ではなく、好き勝手だったんだなと思いました。また、思い返したら、自分も好き勝手したことがあるし、誰かからの好き勝手を食らったこともあると思った。これからは、好き勝手ではなく、本当の自由で過ごしたい。みんなが本当の自由で過ごしたら、今よりもっと暮らしやすくなるのではないかなと思った。
- ・先生が「自由に遊んでいい。」と言ったあとに、他の人は迷惑だと思っているのに、教室の中を走り回ったり、大声で叫んでいたりするのを見ると、自由の限度を超えて、人に迷惑をかける自分勝手だなと思いました。自由と自分勝手はちがうと思います。
- ・ゲームをみんなが自由にやっていたけれど、ある人の音量がすごく大きくて、それは自由ではなく、自分勝手だなと思った。
- ・わたしは、自由はみんなが手にしていいものだけど、好き勝手にやっていると、自由がどんどん壊れていくことを知り、これからは、「自由」について気を付けていきたいと思いました。
- ・わたしは、自由になりたいけれど、みんなに迷惑をかけない自由になりたいです。
- ・私は、今回の道徳を学習して、自由ということをつもっていたけれど、分かっていなかったのかもしれないと思いました。例えば、自由時間に自分勝手に動いて、「自由時間だからいいじゃん。」という言い訳は通用しないなと思いました。今までたまにそういうことがあったので、意味を間違っていたなと思いました。これからは、きちんと反省して、自由の意味をはき違えないようにしたいです。
- ・自分勝手は、自分がやりたいこと、自分の思い通りみたいにしていって、他の人に迷惑をかけているからだめな自由だと思いました。

自由は、みんなのことを考えつつやるということがいい自由だと思います。自分勝手と自由では大きな差があるので、ちゃんとして自由にしようと思いました。
- ・自由はないと窮屈だけど、周りの人のことを考えないとただの自分勝手になってしまいます。自分勝手にしていると周りの人も迷惑だし、自分も後から困ることになるかもしれないと思いました。また、自分勝手は偽物の自由だと思います。本当の自由は、周りの人も自分もいい気持ちになれると思いました。
- ・自由から外れて勝手なことをした時点で、自由から自分勝手になっていると思った。
- ・いろいろな人がいるから、それぞれに自由の考えがあると思うけれど、自分勝手はだめだと思う。
- ・本当の自由は、相手も自分も楽しくなるようなものだと思う。